

シカゴ先物・オプション取引所

1. CBOT:The Chicago Board of Trade:シカゴ商品取引所)

1. 概 略

1848 年にシカゴ地域の穀物商が安定的な穀物取引を目的として設立した現存する世界最古の取引所。先物取引の契約の概念を開発した取引所として知られ、小麦、とうもろこし、大豆等の農産物のほか、米国政府債券、ダウジョーンズ株価指数等の金融商品等の先物及び先物オプションが上場。1988 年より東京事務所を開設。

2. 組 織

- ・会員:3,600 名超。(うち正会員は 1,402 名で全ての商品を取引する資格を持つ)
- ・会長:チャールズ・ケーリー氏
先物会社経営、CBOT 副会長等を経て、2003 年3月から現職。
- ・社長兼CEO:ベルナルド・ダン氏
カーギル・インベスター・サービス、CBOT上級副社長を経て、2002 年 11 月から現職。
- ・職員:約 750 名。組織改革に伴い、今後は削減の方向。

3. 出来高

・歴史的に農産物取引を中心に発展してきたものの、現在、出来高に占めるシェアは、金融だけで 80%を占める。なお、先物取引では、欧州先物取引所(EUREX)、シカゴ商業取引所(CME)に次いで世界第3位となる。

(2003 年、先物・オプション合計)

農産物	72,983,159 (16%)
金 融	365,838,537 (80%)
株 価	15,588,957 (3%)
金 属	179,977 (0%)
合 計	454,590,630

4. 近年の動き

- ・1997 年2月に取引フロアを大幅に拡張。
- ・先物業界全体の流れとして、伝統的な公開呼び値取引から電子取引にシフトしていることに対応し、CBOTは営利組織化を含む組織改革を積極的に推進中。

2. CME(Chicago Mercantile Exchange:シカゴ商業取引所)

1. 概要

1898 年、バターと卵の安定的取引を目的としてシカゴ・バター卵取引所(Chicago Butter and Egg Board)創立。1919 年 CME(Chicago Mercantile Exchange)に改組。1972 年、世界で初めて金融先物取引を開発した取引所として知られている。現在、バター、チーズ、肉類等の酪農品の他、外国通貨、金利、株式インデックス等の金融商品の先物・オプションが上場されている。

2. 組織等

- 1) 株式会社組織(2001 年 11 月、非営利会員制組織から営利株式企業に組織変更)
- 2) 会員数:3,138、職員数:1,100 人
- 3) 監督官庁:CFCT(Commodity Futures Trading Commission:商品先物取引委員会)

3. 取扱商品

- 1) 農産物(バター、ミルク、牛肉、生牛、豚肉、肥料、材木等)
- 2) 株式指数(S&P500、NASDAQ100、NIKKEI225、Goldman Sachs 等)
- 3) 金利(ユーロ・ドル、ユーロ・円、財務省証券、日本国債等)
- 4) 外国通貨(ユーロ、日本円、加ドル、独マルク、英ポンド、仏フラン、墨ペソ、伯レアル等)

4. 出来高(2003 年、先物・オプション取引量合計(枚))

農産物	8,971,584	(1.4 %)
外国通貨	34,016,622	(5.3 %)
指数	286,204,884	(44.7%)
金利	311,016,534	(48.6%)
合計	640,209,624	(100%) (前年比 14.6%増)
(金額換算) (約 333.7 兆ドル)		
(資料): "Volume of Trading December 2003" CME ホームページ		

5. 世界の取引所の年間取引高(枚)(先物・オプション合計)

ランク	取引所	2003 年実績	前年ランク
1	Korea Stock Exchange, Korea	2,899,937,895	1
2	Eurex, Germany and Switzerland	1,014,932,312	2
3	Euronext.liffe, London, Paris, Amsterdam, Brussels	694,970,981	3
4	CME, Chicago, USA	640,209,624	4
5	CBOT, Chicago, USA	454,190,749	5
6	CBOE, Chicago, USA	283,946,495	6
14	The Tokyo Commodity Exchange, Tokyo	87,252,219	15

(注)個別銘柄株のオプション取引を除く

(資料):『Futures Industry March/April 2004』FIA(Futures Industry Association)

6. 我が国との関係

CME では、円の通貨先物、株式インデックスの日経 225 を上場している他、2000 年には、東京証券取引所(TSE)と包括的提携関係を結ぶことで合意、CME のドル建て商品と TSE の円建て商品とを組み合わせたデリバティブ商品の共同開発、電子商取引システム上の共有部分の構築等を進めている。なお、2002 年まで会長職にあったスコット・ゴ

ードン取締役(前会長)は東京三菱 FUTURES 社社長を兼業。

7. 最近の動向

1) CME は米国第 1 位、全世界第 4 位(先物及びオプション取引の合計取引高)の米国を代表する先物・オプション取引所で 100 年以上の歴史を有し、長年、CBOT(シカゴ商品取引所)とともに、世界の先物取引の中心の 1 つとして位置付けられてきたが、最近は、EU やアジア市場が拡大、全世界の取引高に占める CME や米国の取引所の割合は減少傾向。

2) 各国の取引所は伝統的なオープン・アウト・クライ(公開呼値)方式から電子取引へ大きくシフトし、取引高を伸ばしている。他方、CME は会員の既得権益の関係等で全面的電子取引への移行に手間取っている。

3) 昨年 9 月、世界最大の先物取引所である EUREX(欧州系(スイス・独))は、シカゴに支店を開設すると発表。本年 2 月、完全電子商取引型の取引所を開設。CBOT の競合商品である米国債先物を上場し競合。また、世界第 2 位の先物取引所である Euronext.liffe(欧州系(英・仏・蘭・ベルギー))も、シカゴに進出し CME との競合商品であるユーロ・달러(ドル金利商品)を扱うとしており、欧米間の競争が増している状況にある。

EUREX: 1998 年、独とスイスのデリバティブ取引所が合併して出来たフランクフルトに拠点を置く取引所。設立後、低コストでワンストップ・サービスの先物・オプション電子取引を提供して急速に実績を伸ばし、1999 年、150 年以上の歴史を誇る CBOT を抜いて、世界第一位の先物取引実績を記録、以来、年間先物取引実績世界第 1 位の実績を継続。先物・オプション取引実績は世界第 2 位。

Euronext.liffe: 2000 年 9 月、アムステルダム、ブラッセル、パリの取引所が合併し Euronext 創設、さらに、2002 年初頭、LIFFE(ロンドン国際金融先物オプション取引所)を買収し創設された取引所。年間先物取引実績世界第 4 位。先物・オプション取引実績は世界第 3 位。

(参考) 先物・オプション取引高(枚)の推移(個別銘柄株のオプションを含む) [in millions]

	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
US Exchanges	807.87	776.64	793.63	905.16	1033.20	1100.86	1313.65	1578.62	1844.90	2172.52
Non-US Exchanges	779.83	905.99	975.34	1025.07	1142.65	1301.98	1675.80	2768.70	4372.38	5940.21
Total	1587.70	1682.63	1768.97	1930.23	2175.85	2402.84	2989.45	4347.32	6217.28	8112.73

(資料): 『Futures Industry March/April 2004』FIA(Futures Industry Association)

3. CBOE(Chicago Board Option Exchange:シカゴオプション取引所)

1. 概要

1973 年、非公認レベルで公平かつ整然(fair and orderly markets)と取引されていなかったオプション取引を一定の規制の下、公平かつ整然としたオプション市場の形成を目指し、CBOTにより設立。

設立当時は 16 の個別大手企業株式の買いオプション取引のみを扱っていた。(売りオプションは 1977 年開始)1984 年、現在の CBOE 自社ビルへ移動。現在、個別銘柄株、株式指数、金利の各オプション商品が上場されている。

2. 組織等

- 1) 会員制組織
- 2) 会員数:法人会員約 520、個人会員約 400、職員数:約 700
- 3) 監督官庁:SEC(Securities and Exchange Commission):証券取引委員会

3. 取扱商品

- 1) 個別銘柄株オプション(1500 社以上)
- 2) 株式指数オプション(ダウ、NASDAQ、NIKKEI 等)
- 3) 金利オプション(長期証券 Treasury Bond 等)

4. 出来高(2003 年、先物・オプション合計取引高(枚))

個別銘柄株オプション	214,180,198 (75.43 %)
その他	69,766,297 (24.57 %)
合計	283,946,495 (100%) (対前年比 6.1%増)

(資料):『2003 Annual Report The Options Clearing Corporation』OCC(The Options Clearing Corporation)

5. 世界の取引所の年間取引高(枚)(先物・オプション合計)

ランク	取引所	2003 年実績	前年ランク
1	Korea Stock Exchange, Korea	2,899,937,895	1
2	Eurex, Germany and Switzerland	1,014,932,312	2
3	Euronext.lifec, London, Paris, Amsterdam, Brussels	694,970,981	3
4	CME, Chicago, USA	640,209,624	4
5	CBOT, Chicago, USA	454,190,749	5
6	CBOE, Chicago, USA	283,946,495	6
14	The Tokyo Commodity Exchange, Tokyo	87,252,219	15

(注)個別銘柄株のオプション取引を除く

(資料):『Futures Industry March/April 2004』FIA(Futures Industry Association)

6. その他

1) ONE Chicago

CME、CBOT、CBOE が Security Futures(個別銘柄株の先物)取引を行うために共同出資して設立した新たな取引所。取引は全て電子的に行われている。2002 年 11 月より取引開始。

注 1)個別銘柄株のオプション取引は CBOE ですすでに取り扱っている。

注 2)欧州ではすでに個別銘柄株の先物取引が実施されている。

2) CBOT の営利株式企業化

CBOE はそもそも CBOT 会員により創設された取引所であるが、現在、資本関係はなく、また、CBOT と CBOE の役員兼任は禁止されている。CBOT 会員は自動的に CBOE で取引を行う権利を有する。1999 年から 2000 年にかけて CBOT が営利株式企業に組織変更するにあたり、CBOE は営利企業化と同時にこのフロアアクセス権を無効とする旨通知した。CBOT の会員券価格は CBOE のフロアアクセス券に支えられている部分が大いなので、結果、会員券の下落を招くとして CBOT と対立した。訴訟も提起されたが、営利企業化後はフロアアクセス権を一部制限することで和解。

7. 米国における取引所の課題

EU、アジアの市場が拡大し先物・オプション取引の世界取引高が増加する中、米国における取引高は減少傾向。

(参考) 先物・オプション取引高(枚)の推移(個別銘柄株のオプションを含む) [in millions]

	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
US Exchanges	807.87	776.64	793.63	905.16	1033.20	1100.86	1313.65	1578.62	1844.90	2172.52
Non-US Exchanges	779.83	905.99	975.34	1025.07	1142.65	1301.98	1675.80	2768.70	4372.38	5940.21
Total	1587.70	1682.63	1768.97	1930.23	2175.85	2402.84	2989.45	4347.32	6217.28	8112.73

(資料):『Futures Industry March/April 2004』FIA(Futures Industry Association)